

# 第2次 伊予市子ども読書活動推進計画

2023～2027



## 伊 予 市

令和5年3月

# 目 次

第1章 伊予市子ども読書活動推進計画の目的	1
1 計画策定の目的	1
2 国・県の方針	1
3 計画の対象・期間	2
(1) 計画の対象	2
(2) 計画の期間	2
4 SDGsとの関連	3
第2章 伊予市の現状と課題	4
1 伊予市の子どもの読書活動について	5
2 伊予市における子ども読書環境の現状と課題	12
(1) 学校における読書環境	12
(2) 保育所・幼稚園における読書環境	14
(3) 地域における読書環境	15
(4) 家庭における読書環境	16
(5) 図書館における読書環境	17
(6) その他の課題	20
3 前計画期間中の成果と課題	22
第3章 子ども読書活動推進のための基本方針	26
第4章 子ども読書活動推進のための具体的な取組と実施目標	28
1 顔の見える協力体制づくり	29
2 本の楽しさを広げる活動の場づくり	30
3 自分から本に向かう読書環境の整備	32
4 子どもの読書活動を応援する人の確保	36
第5章 子ども読書活動推進計画における評価と今後の目標	38
1 第2次伊予市子ども読書活動推進計画の評価について	38
2 第3次伊予市子ども読書活動推進計画に向けた目標について	38

## 【資料編】

## 第1章 伊予市子ども読書活動推進計画の目的

### 1 計画策定の目的

読書活動は、子どもが成長していくうえで大変重要な活動の一つです。

「伊予市子ども読書活動推進計画」は、国や県の方針を踏まえながら、第2次伊予市総合計画の将来像である「まち・ひと ともに育ち輝く伊予市」の実現を目指し、子どもたちが自ら未来を切り拓く力を身につける手段の一つとして、平成30（2018）年3月に策定しました。

しかし、子どもの読書活動を取り巻く環境は、策定当時と比べて大きく変化しています。そうしたことから、前計画での取組の結果を検証し、また、令和4年度伊予市社会教育基本方針に掲げる「生涯にわたり学習できる環境づくり」の理念に則り、家庭、地域、学校、各種機関・団体等と連携・協力しながら、一人でも多くの子どもたちが自発的に本に向き合えるよう、子どもの読書環境の整備を推進していくことを目的に本計画を策定するものです。



### 2 国・県の方針

学校で学んだことが、子どもたちの今日の生活を豊かにし、将来の生きる力を支える学力となるよう、新学習指導要領が小学校では令和2（2020）年度、中学校では令和3（2021）年度から全面実施、高等学校では令和4（2022）年度の新入生から実施されています。

この新学習指導要領において国は、社会に出ても学校で学んだことが生かせるよう、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の三つの力をバランスよく育むことを目標に掲げました。

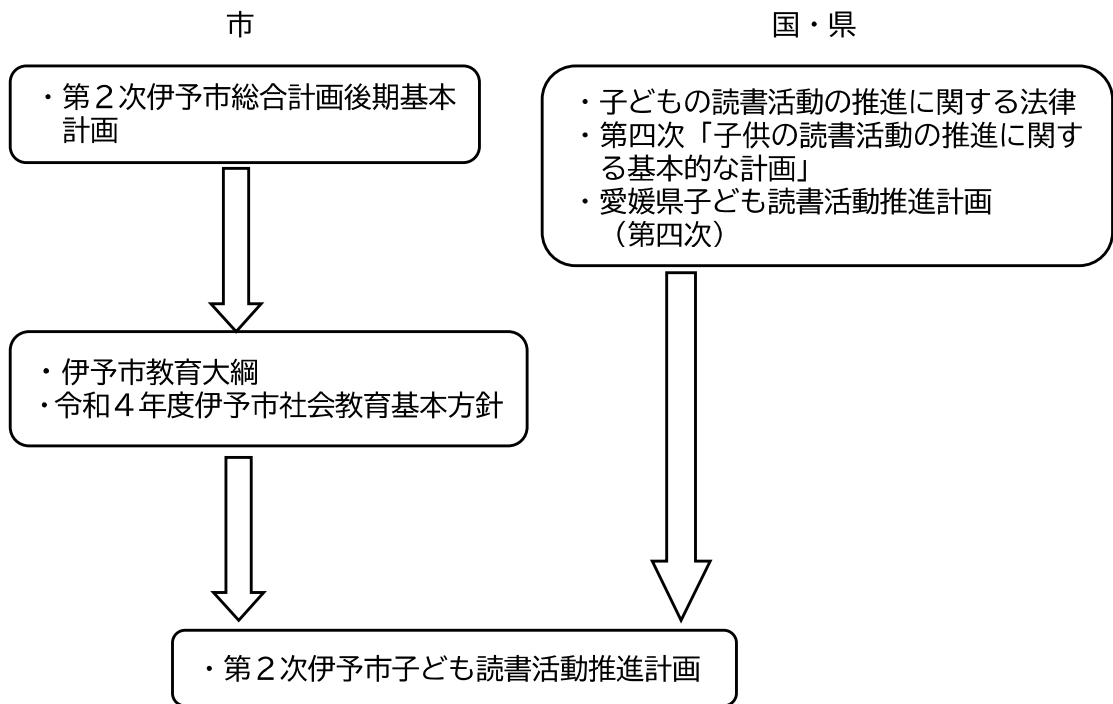
こうしたことから、これからの未来を担う子どもたちには、協働や新たな価値の創造が求められてきます。その中で、必要な情報を精査し、いかに情報発信を行っていくかを考えていくうえで、読書活動は、ますます重要となってまいります。

また、国が平成30（2018）年4月に策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）」において、「①読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進」、「②友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実」、「③情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析」を掲げています。



愛媛県では平成31（2019）年3月に策定した、「愛媛県子ども読書活動推進計画（第四次）」において、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、子どもの読書活動をより一層推進するために、「読書を通じた、心豊かでたくましく未来を拓く子どもの育成」を目標に掲げ、重点目標として「①家庭における子どもの読書活動の推進」、「②県立図書館における子どもの読書活動の推進」、「③ボランティアの育成と活用」、「④公立図書館と学校等との連携」などを掲げ取り組んでいます。

### 「第2次伊予市子ども読書活動推進計画」の他計画等との関係



## 3 計画の対象・期間

### (1) 計画の対象

この計画の対象は、0歳から18歳以下の子どもとします。

### (2) 計画の期間

この計画の実施期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。

## 4 SDGsとの関連

SDGs（エスディージーズ）とは、日本語訳では「持続可能な開発目標」となります。これは、平成 27（2015）年9月に国連サミットにおいて、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために全会一致で採択された、世界共通の17の目標です。この17の目標の下には、目標を達成させるための具体的な項目である169のターゲットが設定され、この目標を令和12（2030）年までに全世界で達成することを目指しています。第2次伊予市総合計画後期基本計画においても、SDGsを推進するため、施策の目標ごとにSDGsの目標を明示しています。本計画でも、17の目標のうち、子どもの発達段階に応じた本が提供できるように④「質の高い教育をみんなに」、子どもの成長を支えるそれぞれの場所で、読書が好きになるように⑪「住み続けられるまちづくりを」、すばらしい本との出会いをすべての子どもに届けるため、学校、保育所・幼稚園、図書館そしてボランティアグループが連携するように⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」を目標に子どもの読書環境の充実に取り組みます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 第2章 伊予市の現状と課題

第2次伊予市子ども読書活動推進計画の策定にあたり、市内小中学校の児童生徒・伊予農業高等学校の生徒及び保育所・幼稚園等の保護者の方にご協力いただき、アンケート調査を行いました。(令和3年12月実施)

小学校回答率	1856人／1861人	99.7%
中学校回答率	882人／883人	99.9%
保育所・幼稚園回答率	692人／890人	77.8%
伊予農業高等学校回答率	543人／543人	100.0%

また、市内小中学校・伊予農業高等学校、保育所・幼稚園及び地域の読書ボランティア団体にご協力いただき、活動内容や課題等に関するアンケート調査を行いました。(令和4年4月実施)

小中学校・高等学校回答数	14校
保育所・幼稚園等回答数	14園
読書ボランティア回答数	4団体



## 1 伊予市の子どもの読書活動について

**問:本を読むのが好きですか？**

伊予市には、読書好きな子どもが多いです。

『本を読むのが好きですか?』という問いに対して、小学生のうち、「はい」と答えた児童は全体の83.6%でした。これは、前回の調査時の「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた児童が92.5%であったのに比べると約9%減少していますが、多くの児童が読書好きであるという結果となっています。

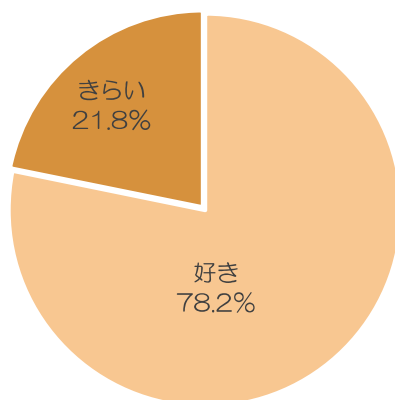
また、中学生では、「はい」と答えた生徒は全体の83.4%でした。これは、前回調査時の「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた生徒の合計が82.0%であったのと比べると、ほぼ横ばいであり、小学生と同じく多くの生徒が読書に対しては高い関心を持っているということが分かります。

高校生では、「はい」と答えた生徒は全体の78.2%でした。これは、愛媛県が平成30(2018)年7月に調査した「好き」、「どちらかといえば好き」の合計81.3%を下回った結果となっています。

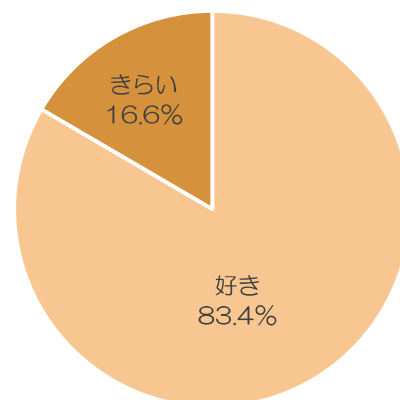
学校段階が上がるにしたがって低くなる傾向は、愛媛県調査と同様の結果となっています。

なお、保育所・幼稚園等の保護者への「お子さんは本が好きだと思いますか?」という問いについても、「好きだと思う」と答えた保護者は全体の87.3%という結果が出ており、伊予市の子どもは読書好きで、読書活動推進の土壌が継続していると言えます。

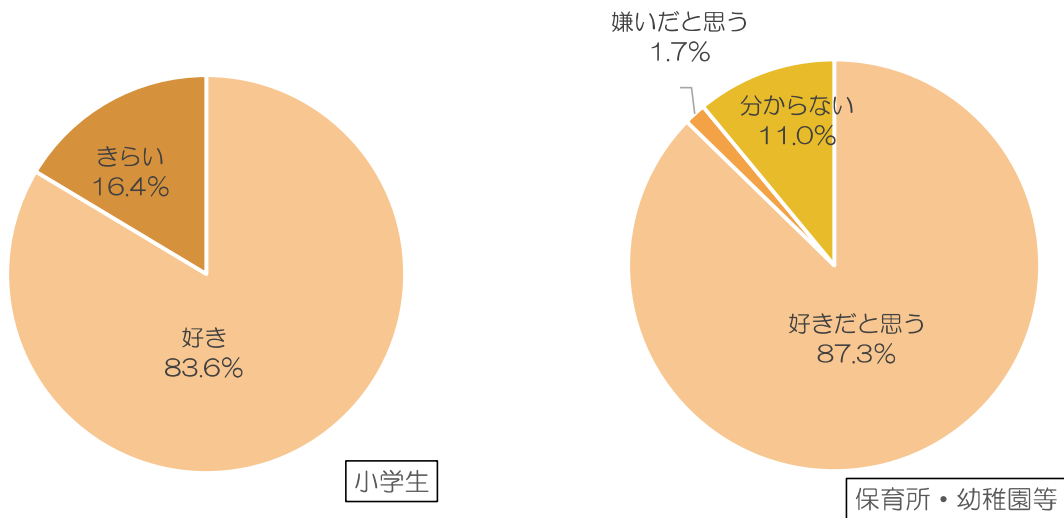
	好き	嫌い	
小学生	83.6%	16.4%	
中学生	83.4%	16.6%	
高校生	78.2%	21.8%	
	好きだと思う	嫌いだと思う	分からない
幼児	87.3%	1.7%	11.0%



高校生



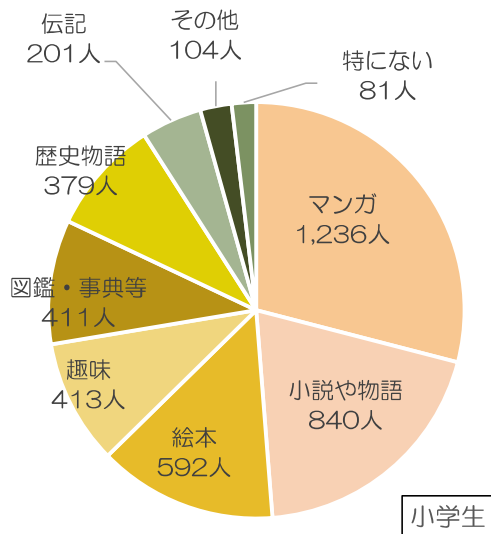
中学生



**問:どんなジャンルの本が好きですか?**  
 伊予市の子どもは、「マンガ」や「小説や物語」を多く読んでいます。

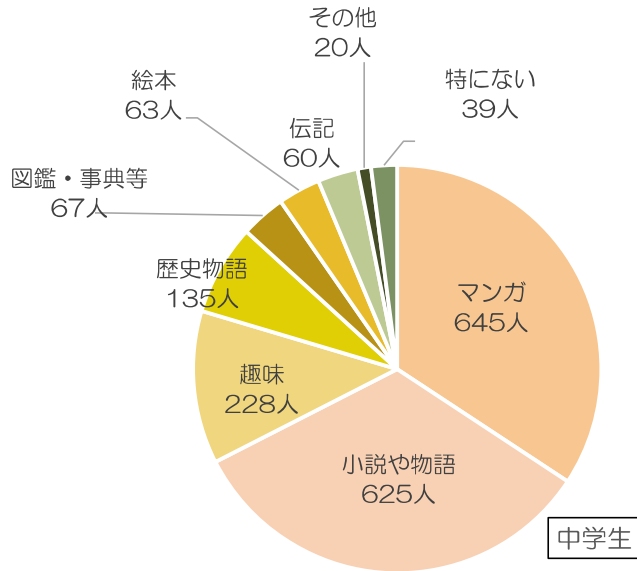
『どんなジャンルの本が好きですか?』という問いに対して、小学生、中学生及び高校生とも、マンガと小説や物語が最も多く読まれています。市立図書館や学校図書館への本の購入についても、マンガを望む声は多く、他にも携帯小説や映画化・ドラマ化した小説、アニメの小説など多種類の本に対する要望が少なくありません。

小学生	マンガ	小説や物語	絵本	趣味	図鑑・事典等
	1,236人	840人	592人	413人	411人
	歴史物語	伝記	その他	特にない	
	379人	201人	104人	81人	

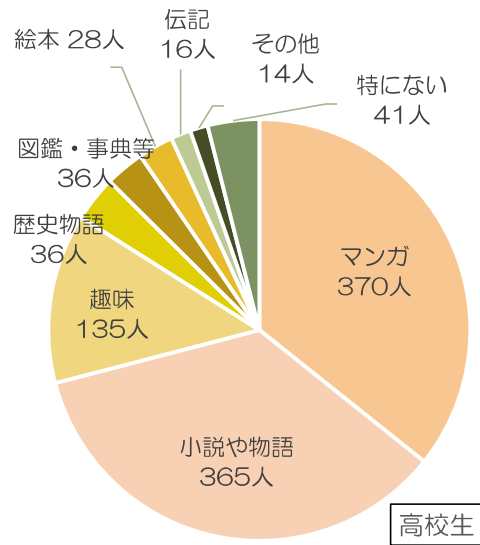




中学生	マンガ	小説や物語	趣味等	歴史物語	図鑑・事典等
	645人	625人	228人	135人	67人
	絵本	伝記	その他	特にない	
	63人	60人	20人	39人	



高校生	マンガ	小説や物語	趣味等	歴史物語	図鑑・事典等
	370人	365人	135人	36人	31人
	絵本	伝記	その他	特にない	
	28人	16人	14人	41人	



**問：一週間にどれくらい本を読みますか？**

伊予市の小学生は一週間に「2～4冊」、中学生・高校生は一週間に「1冊」読む子どもが最も多くなっています。

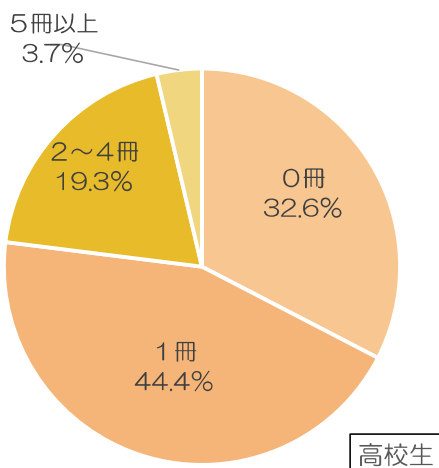
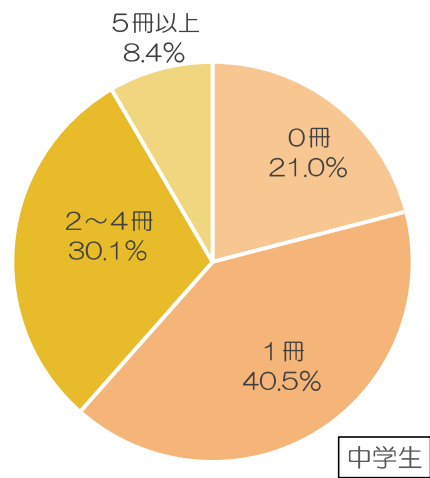
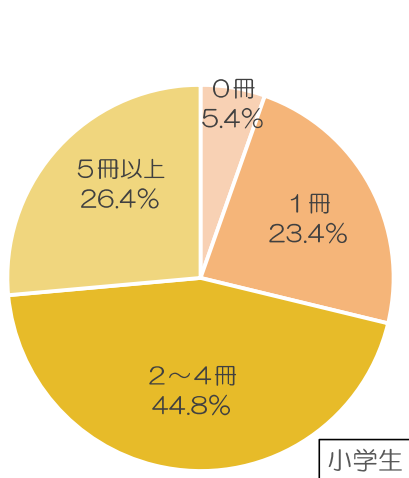
『一週間にどれくらい本を読みますか？』という問いに対して、小学生は「2～4冊」という回答が最も多く、本を1冊も読まないという児童は全体の5.4%でした。

対して、中学生は本を読まないという回答は21.0%に上り、全体的にも「1冊」という回答が最多となっています。

また、高校生については、本を読まないという結果が更に大きく、全体の32.6%となっています。

中高生の減少における大きな理由としては、部活動や勉強等、学校活動が忙しくなり、読書に費やす時間が少なくなっていることが考えられます。

	0冊	1冊	2～4冊	5冊以上
小学生	5.4%	23.4%	44.8%	26.4%
中学生	21.0%	40.5%	30.1%	8.4%
高校生	32.6%	44.4%	19.3%	3.7%



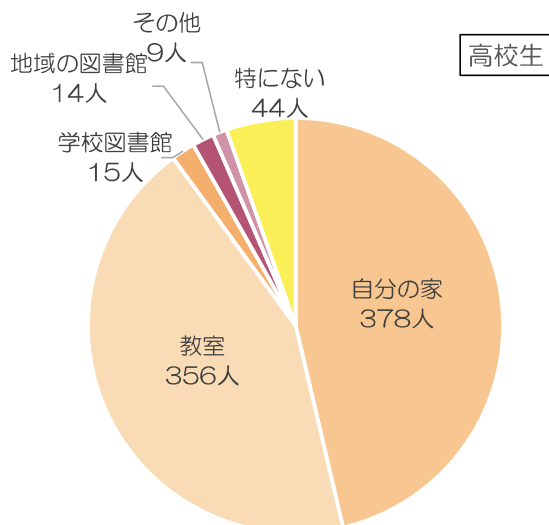
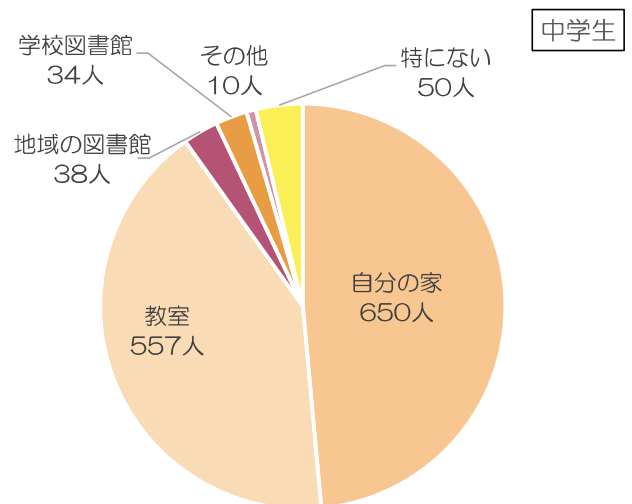
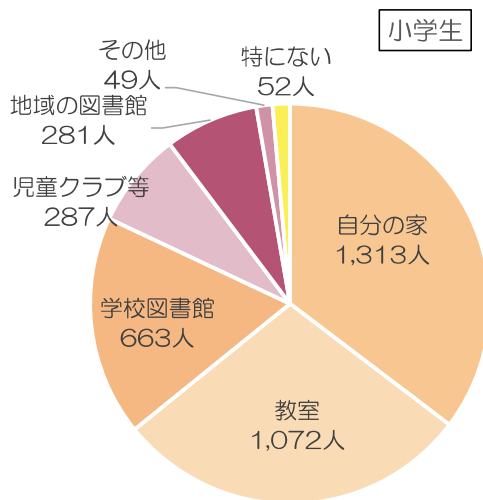
**問：本はどこで読むことが多いですか？**

伊予市のほとんどの子どもは、「自分の家」で読書を行います。

『本をどこで読みますか？』という問いに対して、小学生、中学生、高校生とも、「自分の家」という回答が最も多くなっています。2番目に多いのは、「教室」となっていますが、これは朝読書や昼休みの読書が要因であると推測されます。

なお、地域の図書館（伊予市立図書館）を利用している子どもの数は少ないという結果となっています。原因としては、自宅から距離が遠いという地理的な要因が一番だと考えられます。

小学生	自分の家	教室	学校図書館	児童クラブ等	地域の図書館
	1,313人	1,072人	663人	287人	281人
中学生	自分の家	教室	地域の図書館	学校図書館	
	650人	557人	38人	34人	
高校生	自分の家	教室	学校図書館	地域の図書館	
	378人	356人	15人	14人	



**問:読みたい本はどのようにしていますか?**

伊予市の小学生は読みたい本を「学校図書館から借りる」、中学生・高校生は「本屋さんで買う」子どもが最も多くなっています。

『読みたい本はどのようにしていますか?』という問いに対して、小学生は「学校図書館から借りる」、「家にある本を読む」という回答が多くありました。学校及び家庭内において、児童への呼び掛け等、読書推進に係る取組が行き届いていることが想定されます。

中学生・高校生は「書店で買う」という回答が突出して多くありました。小学生もその回答割合が高いことから、読みたい本が学校図書館や地域の図書館にはなく、小中学生・高校生との需要の差が課題として挙げられます。

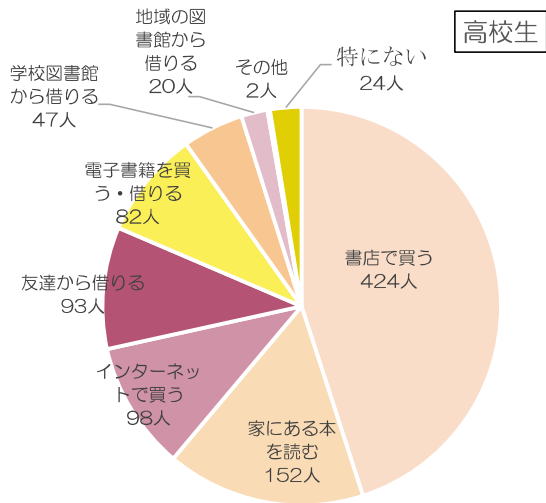
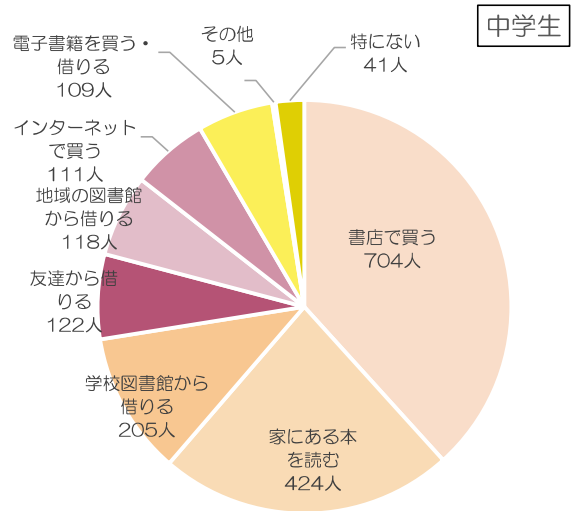
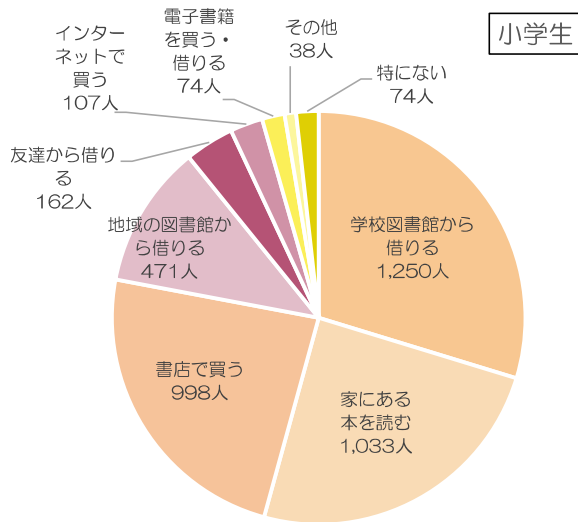
なお、前回調査時になかった、「インターネットで買う」、「電子書籍を買う・借りる」という回答も、小学生から高校生まで一定人数が見受けられました。これは、時代に即した傾向だと考えます。

小学生	学校図書館から借りる	家にある本を読む	本屋さんで買う	地域の図書館から借りる	友達から借りる
	1,250人	1,033人	998人	471人	162人
	インターネットで買う	電子書籍を買う・借りる			
	107人	74人			

中学生	書店で買う	家にある本を読む	学校図書館から借りる	友達から借りる	地域の図書館から借りる
	704人	424人	205人	122人	118人
	インターネットで買う	電子書籍を買う・借りる			
	111人	109人			

高校生	書店で買う	家にある本を読む	インターネットで買う	友達から借りる	電子書籍を買う・借りる
	424人	152人	98人	93人	82人
	学校図書館から借りる	地域の図書館から借りる			
	47人	20人			

## 第2章 伊予市の現状と課題



## 2 伊予市における子ども読書環境の現状と課題

### (1) 学校における読書環境

#### ① 読書に関する取組や工夫について

ほとんどの小中学校・高等学校では、「朝読書・<sup>※1</sup>業間読書」(14校)や「調べ学習」(13校)、「おすすめ本の紹介」(12校)、「<sup>※2</sup>多読賞」(12校)を行っています。他にも、「壁面展示」(10校)や「<sup>※3</sup>読書通帳」(9校)、「読み聞かせ」(8校)といった回答も多く見られました。

また、「図書だよりの発行」(4校)、「図書館見学」(4校)、「<sup>※4</sup>読書ビンゴ」(3校)などを実施している学校もありました。

朝読書・業間読書	調べ学習	おすすめ本の紹介	多読賞	壁面展示
14校	13校	12校	12校	10校
読書通帳	読み聞かせ	図書だよりの発行	図書館見学	読書ビンゴ
9校	8校	4校	4校	3校
<sup>※5</sup> ブックトーク	読書感想文展示	<sup>※6</sup> パネルシアター		
3校	1校	1校		

#### ② 学校図書館の運営で困っていること

小中学校においては、「蔵書数、利用したい本の不足」、「本の整理（古い本の処理等）」について困っているという回答が多くありました。特に、小規模校では、複数の校務を担当しているため、学校図書館の環境整備にかかる時間と労力が行き届かず、市内小中学校全校に<sup>※7</sup>図書館管理システムを導入したものの、それに伴う作業が負担となっているという学校が見受けられます。また、数多くある古い本の整理作業にあたり、<sup>※8</sup>除籍を進め過ぎると蔵書数が少なくなるという学校もありました。

本の整理以外にも、「児童への貸出返却処理」に関する問題も挙がり、図書館管理システムのパソコン端末が1台しかないため、大規模校では特に貸出返却処理に時間を要し、定められた時間中（昼休み）に対応が間に合わないという意見がありました。

<sup>※1</sup> **業間読書** 授業の間の休み時間を利用して、読書をしたり読み聞かせをしたりする取組。

<sup>※2</sup> **多読賞** 学校の図書室の本の貸出冊数の多かった子どもを表彰すること。

<sup>※3</sup> **読書通帳** 自分が読んだ本のタイトルや感想を記録する通帳。冊数により多読賞として表彰したり、数多く読んだ子どもがおすすめ本を紹介したりするなど、工夫を凝らした取組が行われている。

<sup>※4</sup> **読書ビンゴ** 基盤目のマスを、それぞれの課題に合った本を読むことで埋めていき、タテ、ヨコ、ナナメに何列作れたかを競うゲームのこと。

<sup>※5</sup> **ブックトーク** 本の内容について簡潔に語ることによって、聞き手自身が読書の楽しみに気づき、読書意欲をおこすようにすること。

<sup>※6</sup> **パネルシアター** 羽立ちのあるフランネル布やパネル布を貼った板を舞台とし、表現したい絵や文字を不織布で紙人形状にしたものを貼ったり外したりしながら、おはなし、歌あそび、ゲーム等を展開する表現方法。

<sup>※7</sup> **図書館管理システム** 図書館（室）が保有する資料を、総合的に管理する電子的な台帳。その他、図書館（室）の運用や活用に関する機能が備わっている。

<sup>※8</sup> **除籍** 図書館（室）で、所在不明であったり、破損、汚損があったり、あるいは不要となった資料を原簿（台帳）から削除すること。

③ 学校で行われている事例の紹介

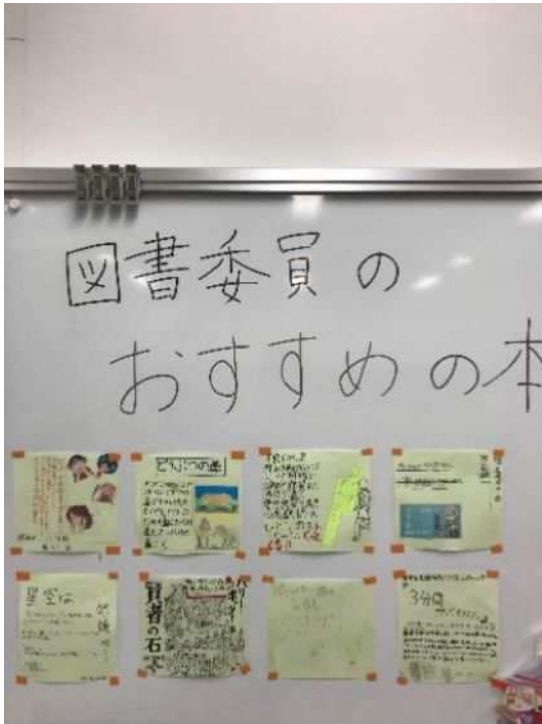
- ・ 読書ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 雨の日の紙芝居
- ・ おすすめの本を児童や先生に紹介してもらう
- ・ 学校図書館にトピックコーナーをつくり、季節にあった本や読んでおもしろかった本の紹介
- ・ 新刊図書の紹介
- ・ 校内放送でのおすすめ本の紹介
- ・ 多読賞の表彰
- ・ 縦割り班による貸出冊数の競争
- ・ 図書館だよりの発行
- ・ 調べ学習
- ・ 授業での図書館利用、集団貸出
- ・ 図書館クイズの放送
- ・ 朝読書・業間読書



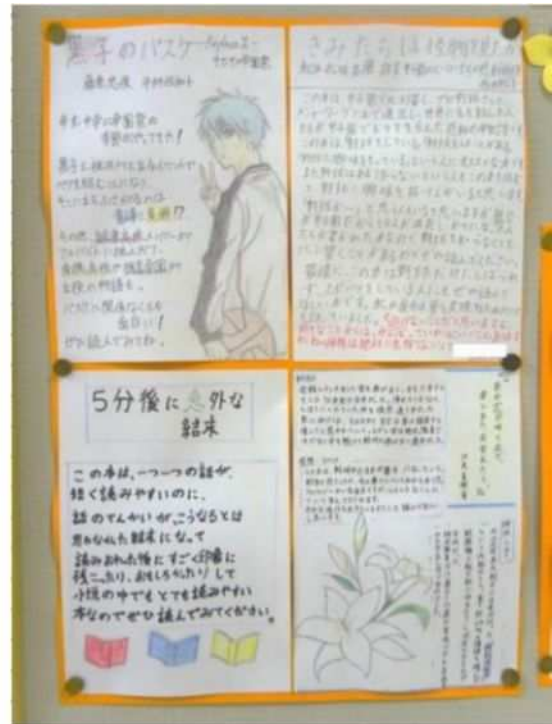
図書委員会によるおすすめ本配布  
(写真提供:中山小)



朝読書  
(写真提供:中山中)



図書委員のおすすめ本の紹介  
(写真提供:双海中)



図書委員作成掲示物  
(写真提供:港南中)

(2) 保育所・幼稚園における読書環境

① 読書に関する取組や工夫について

多くの保育所、幼稚園では、「読み聞かせ」(14園)を行っているという回答がありました。また、「紙芝居」(13園)や「パネルシアター」(11園)、「絵本の貸出し(親子読書)」(10園)、「おすすめ本の紹介」(6園)を行っている園もありました。

読み聞かせ	紙芝居	パネルシアター	絵本の貸出し (親子読書)	おすすめ本の紹介
14園	13園	11園	10園	6園
学習会・研修会への参加	図書館見学			
2園	2園			

② 図書室の運営で困っていること

保育所・幼稚園においても、「本の整理(古い本の処理等)」について困っているとの回答が多くありました。保育士や幼稚園教諭の業務は多岐にわたっており、小中学校同様、図書に関する業務まで手が届かず、読書推進に向けた研修への参加なども困難な状況です。また、「小さい子どもは、本の扱いがよく分かっていないため、破れたり汚れて返却される。どのように伝えればいいのか困っている。」との回答もありました。



- ③ 保育所・幼稚園で行われている事例の紹介
- ・ 職員、読書ボランティア、保護者による読み聞かせ
  - ・ おすすめ本を園児や保護者に紹介
  - ・ 親子読書による保護者への絵本の貸出
  - ・ おすすめの本を児童や先生に紹介してもらう



絵本の読み聞かせ  
(写真提供:中山認定こども園)

(3) 地域における読書環境

地域や学校、保育所、幼稚園において、ボランティア団体が活動していますが、地域によりボランティアの存在の有無や、活動状況(回数や内容等)など、形態は様々です。今回のアンケート調査において、4団体より回答を得ましたが、市内全域の把握はできていないのが現状です。

① 読書に関する取組や工夫について

団体においては、拠点となる施設において「読み聞かせ」や「おはなし会」を中心に活動を行っています。他にも、パネルシアターやブックトークを行っています。また、地域ボランティアと図書館における連携した取組(おはなし会や親子体験イベント等)を行っています。

② ボランティア活動で困っていること

ボランティア活動においては、「人材不足」が課題となっているという回答が多く見られました。具体的な事例として、学校のボランティア団体は保護者が多く、働いている人もいるため時間の調整ができず、集まるのが難しいという意見がありました。

その他、「財源不足」、「情報発信不足」、「活動場所の確保」などが課題であるとの回答がありました。

また、近年の新型コロナウイルス感染症により、これまで行ってきた活動に思

うように取り組めなくなったという問題も提起されました。新型コロナウイルス感染症の終息がいつになるか見通せないが、ウィズコロナで活動を再開したいとの想いを持っているグループがほとんどです。

③ 地域で行われている事例の紹介

- ・ おはなし会
- ・ ブックトーク
- ・ パネルシアター



子ども教室ブックトーク  
(写真提供:いよ本プロジェクト)

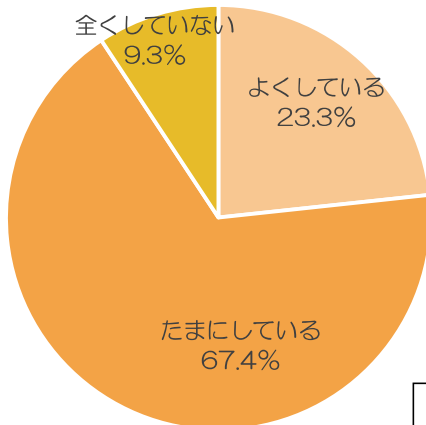
(4) 家庭における読書環境

① 読書に関する取組

『お子さんに絵本や物語の読み聞かせをしていますか?』との問いに対して、全体の90.7%の人が「している」(よくしている:23.3%、たまにしている:67.4%)と回答しています。

また、『お子さんに読書をすすめるために、どのようなことをしていますか?』との問いに対して、「家に本をそろえる」という回答が多かったことから、読書環境の整備、読書の重要性や効果、それに伴う子どもへの読書活動推進の意識は高いと考えられます。

お子さんに読み聞かせをしていますか?	よくしている	たまにしている	全くしていない
	23.3%	67.4%	9.3%



読み聞かせをしていますか?

## ② 読書環境で困っていること

『お子さんの読みたい本はどのようにしていますか?』という問いに対して、「家にある本を読む」、「書店で買う」という意見が半数以上であり、その要因としては、子どもが小さいため、図書館の本を汚したり、破いたりすることを懸念しての結果であると推測されます。また、図書館で声を出すこと（声を出しての読み聞かせ、泣く等）に気兼ねして利用に至らないケースも見受けられます。

また、伊予市立図書館以外の施設（保育所・幼稚園）から借りるという回答も多く、利用しづらいという声もあることから、環境及び運営の改善が必要と考えます。

なお、『あなたはどんなことがあれば、お子さんのために図書館を利用しようと思いますか?』との質問に対して、「児童書だけの部屋。子どもが声を出せる雰囲気があればよい」、「静かにできないので児童書などは防音の部屋等別にしてほしい」、「子どもがたくさんいても図書館に行きやすい環境」、「場所が遠く道が混んでいるところなので行きにくい」などの要望がありました。

## ③ 家庭で行われている事例の紹介

『お子さんに読書をすすめるために、どのようなことをしていますか?』という問いに対して、「家に本をそろえる」や「子どもが本を読んだらほめる」という回答が半数以上ありました。また、中には「寝る前に本を読む習慣をつけている」や「兄弟で読み合う」などの回答もあり、子どもが小さいうちから本を読むことの大切さを教えたいという保護者の願いが見て取れます。

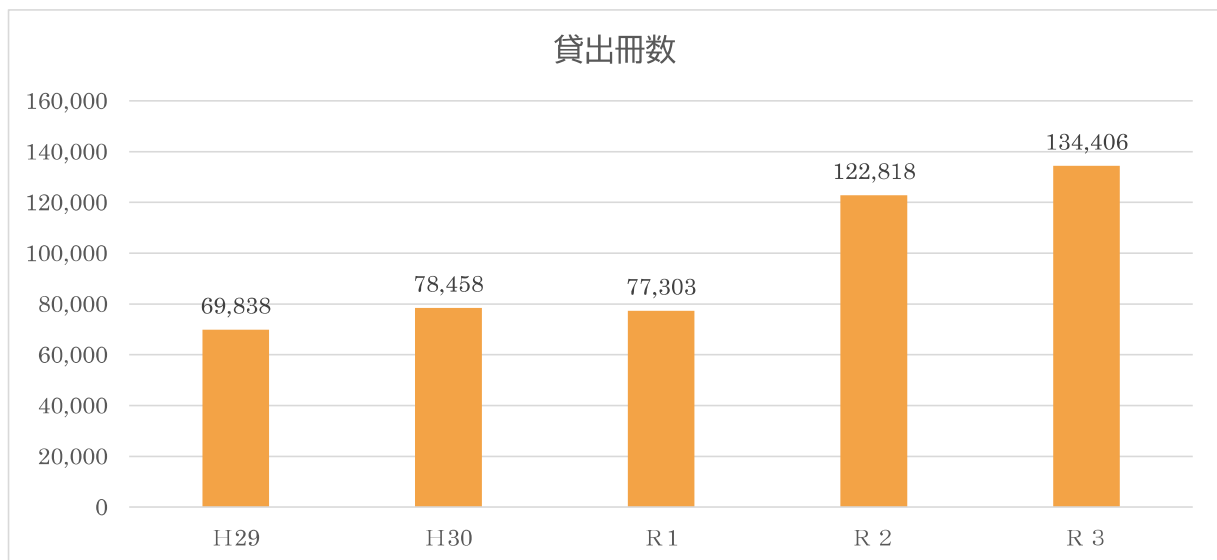
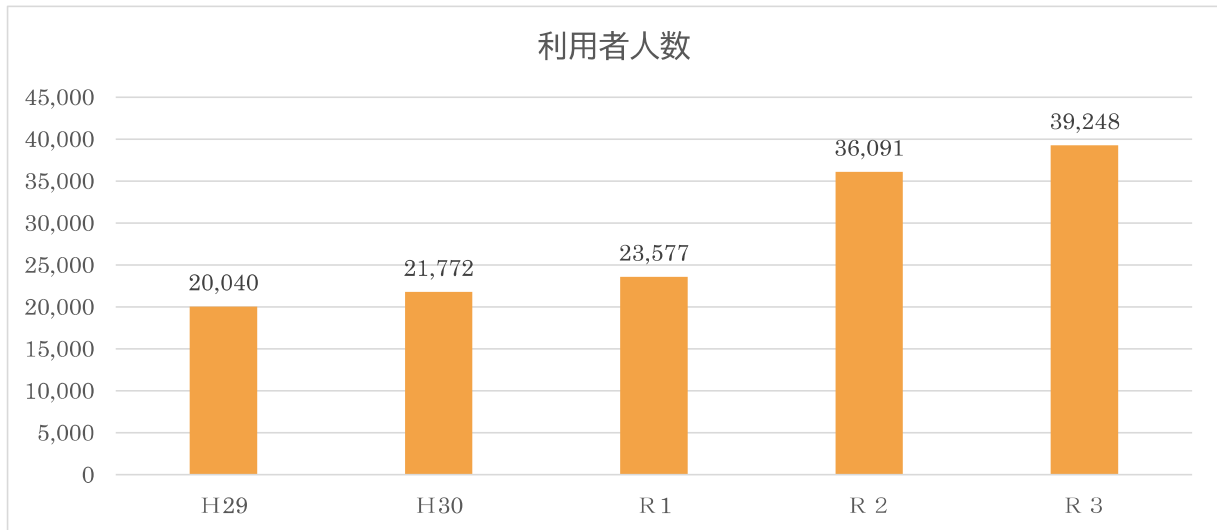
## (5) 図書館における読書環境

## ① 読書に関する取組や工夫について

現在、伊予市立図書館では、企画展示やおはなし会の開催、学習スペースの活用など、様々な子どもたちの読書推進及び図書館利用促進に向けた取組を展開しています。

また、利用者人数は、年々増加傾向にあり、特に図書館が新しくなった令和元年度以降は、コロナ禍の影響による閉館があったにもかかわらず、大幅な増加となっています。そのなかで、子どもの利用割合は平成29年度の20.8%から令和3年度には25.7%に増加し、新図書館効果もありますが取組に対する効果が表れていると考えます。

	H29	H30	R 1	R 2	R 3
利用者人数（年間）	20,040 人	21,772 人	23,577 人	36,091 人	39,248 人
（1日当り平均）	73.7 人	78.3 人	120.3 人	142.1 人	160.2 人
貸出冊数	69,838 冊	78,458 冊	77,303 冊	122,818 冊	134,406 冊
（1人当り平均）	3.48 冊	3.60 冊	3.28 冊	3.40 冊	3.48 冊



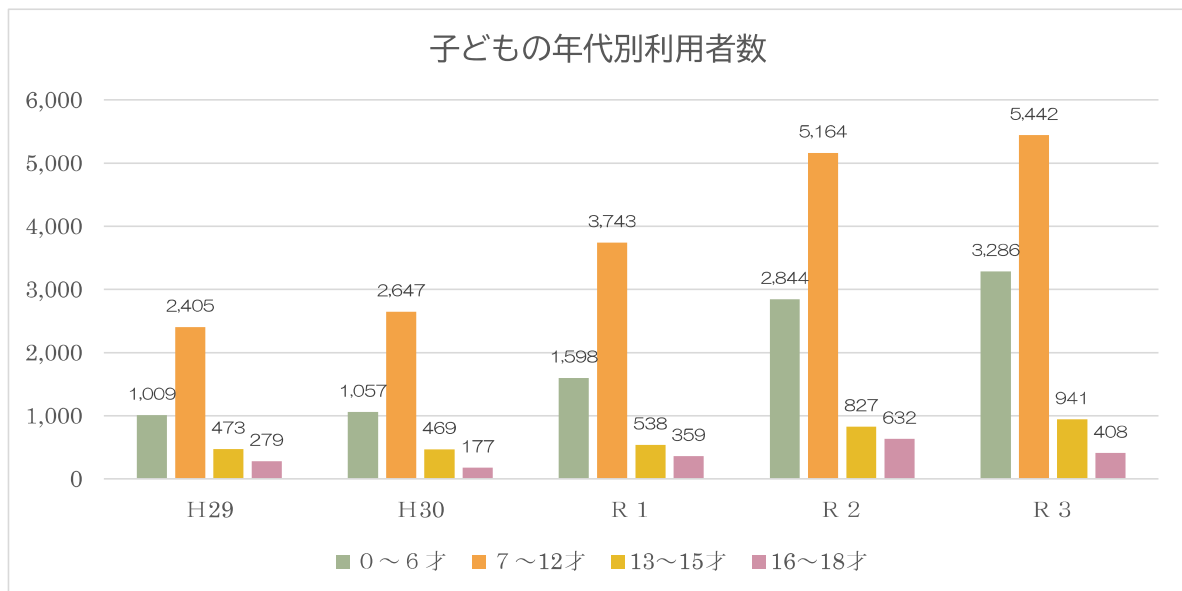
	H29	H30	R 1	R 2	R 3
0～6才	1,009人	1,057人	1,598人	2,844人	3,286人
7～12才	2,405人	2,647人	3,743人	5,164人	5,442人
13～15才	473人	469人	538人	827人	941人
16～18才	279人	177人	359人	632人	408人
合計	4,166人	4,350人	6,238人	9,467人	10,077人

※H29・30は旧図書館

※R 1は、4月1日から28日まで旧図書館。4月29日から7月31日まで新図書館への移行期間のため休館。8月1日から新図書館となるが、R 2年3月3日から31日まで新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため休館

※R 2は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、4月1日から5月12日まで休館

※R 3は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、4月10日から5月31日まで休館



【図書館で行っている取組】

- ・ 古典文学講座
- ・ おすすめ本の企画展示・特別展示
- ・ おはなし会・クリスマスミニミニおはなし会
- ・ すてきな絵本の読み語りライブ
- ・ 犬のクイズに挑戦しよう
- ・ 折り紙サンタをさがそう！
- ・ 猫を愛した偉人クイズ！
- ・ みんなで本棚をつくろう
- ・ 社会科見学や職場体験の受入れ



おはなし会



みんなで本棚をつくろう

## ② 図書館の運営で困っていること

新図書館に移行し、蔵書数の増や、利用者数の増加による人員不足が生じています。そのため、子どもの読書活動への推進活動はもとより、通常業務以外の新しい事業や図書館外へのサービス提供などの発展した取組は、職員の負担増につながることから、なかなか取り組むことができていない状況です。市内全域における効果の向上のためには、適切な人員体制の構築やより多くのボランティアの確保が必要です。

## (6) その他の課題

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであって、社会全体でその向上を見守っていくことは極めて重要なことです。しかし現在では、インターネット、映像・音楽・ゲーム機器等の様々な情報メディア等

の発達・普及に伴い、子どもたちを取り巻く生活環境の変化が起こり、さらには余暇時間の過ごし方の多様化や幼児期における読書習慣の欠如などにより、子どもの「読書離れ・活字離れ」が指摘され始めてから久しい状況です。しかし、幼児期における親の読み聞かせにより、親子の絆が深まり、また、創造力の発達につながり、そのうえで読書活動の活発化も期待できると考えます。

また、読書活動の重要な責務を担う図書館や読書ボランティア活動等の情報発信が不足しています。できるだけ広く伝わる仕組みづくりの検討も必要があると考えます。

### 3 前計画期間中の成果と課題

前計画に掲げた実施目標について、その成果と課題を検証しました。

#### (1) 顔の見える協力体制づくり

実施目標	成 果	課 題
市内外各機関との連携	市役所内の他部局（福祉・環境・政策等）と連携し、企画展示を実施した。 保育所・幼稚園、小中学校への情報発信及び収集を行った。また、近隣図書館の支援を得た企画展示も行った（絵本作家による直筆画展）。	家庭及び大学・企業等との連携には着手できていない。
各関係会議や活動への参加	地域のボランティア団体（いよ本プロジェクト）に参加し、情報交換や交流を行った。	参加は数回かつ少数での参加であり、継続的でない。
※ <sup>9</sup> リサイクル本の提供・寄贈本の収集	新図書館になってから「リサイクル本」を置いたリサイクルコーナーを新設し、市民に提供している。なお、寄贈本は年々増加傾向にある。	リサイクルコーナーの空き棚が多く、充実化に向けた取組が必要である。
団体への貸出し	ほとんどの保育所、幼稚園、小学校において、団体貸出しの登録がされており、随時利用がある。	移動図書を活用した貸出しがあったが実績が減少している。

#### (2) 本の楽しさを広げる活動の場づくり

実施目標	成 果	課 題
各団体の取組紹介、イベント開催の情報発信	図書館主催のイベントについて、広報紙、HP、チラシ配布、管内掲示等で周知できた。	各団体の活動実績を把握できなかったため、情報発信に至っていない。
体験学習、地域活動への受入	中学生の職場体験や総合学習、小学生の社会科見学の受入れについて、毎年実施した。	地域ボランティア活動については、把握できていないため、周知ができていない。
親子で楽しめる取組	※ <sup>10</sup> ブックスタート事業を継続して実施している。また、クリスマスには親子読書室でミニミニ読み語り会と文化ホールで絵本の読み語りライブを実施した。	新しい図書館の読み聞かせコーナーの有効活用を図れていない。

※<sup>9</sup> リサイクル本 図書館で除籍をした本。

※<sup>10</sup> ブックスタート 赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などを提供し、絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動。



複合施設の機能を活かした取組	文化ホール担当者と連携し、本の読み語りライブを行い、ホームページに動画配信も実施した。また、地域交流館や共有スペースにおいても、講座等の自主事業にあわせた企画展示を行った。	施設には、運動や料理、工作をできる部屋を備えており、より発展的な利用を検討する余地がある。
----------------	--	---

## (3) 自分から本に向かう読書環境の整備

実施目標	成 果	課 題
読書推進に向けた環境づくり	ゲーム感覚で楽しめるイベントを実施することなどによって、来館促進及び読書推進を図っている。多くの保育所・幼稚園で読み聞かせ等を行っている。小中学校では、朝読書・業間読書を行っている。	家庭や地域での取組については、把握ができていない。
専門知識を活かした支援	学校等から調べ学習の内容などの相談を受け付ける態勢を整えており、随時、対応を行った。	図書館から自発的な働きかけは行っておらず、問い合わせは少ない。
選書及び蔵書の充実	新図書館への蔵書導入に際して、ボランティアの協力を得て、選書を行い、新館移行後も継続している。また、中学生の職場体験時にも、中高生向けの本を中心に選書をしてもらっている。	子どもに対してのリクエスト制度の周知が不十分である。
企画展示や壁面展示	おすすめ本（記念日絵本、季節の絵本展示、SDGs、課題図書、中学生職場体験おすすめ本）の展示を年間通して展示を行っている。また、利用者による参画型の展示も行った。	特になし
<sup>11</sup> 移動図書館・配本サービス	実施なし	人員不足の関係から移動図書館の再開が図れていない。また、配本サービスも実施できていない。
まちなか図書館の設置	実施なし	市内のまちなか図書館とは連携が取れていない。

※11 移動図書館 書籍などの資料と職員を載せた自動車などを利用して、図書館を利用しにくい地域の人のために、各地を巡回して図書館のサービスを提供する仕組み。

障がい者向けの整備環境	新図書館への移行により、ハードの面では、新図書館となってから土足可等バリアフリー化が図れた。ソフト面では、導入時に点字本及び大型本等の導入を心掛けた。また、バリアフリーをテーマにした企画展示を行った。	音読ボランティアの協力を得るまでには至っておらず、また、電子書籍については対応できていない。
学習スペースの提供	新施設への移行によって、十分な学習コーナーの提供が行えており、数多くの生徒や学生たちの利用がある。	学習コーナーの利用は多くあるが、読書推進にはつながっていない。
検索システムの活用	図書館内において、検索システムの利用方法を分かりやすく解説したガイドを作成・設置した。窓口や電話よりも、インターネットによる検索件数が多い。	特になし
本の修理やクリーニング	図書館にある本の修理を適宜行っている。また、コロナ禍ということもあり、返却本の消毒作業を必ず実施するとともに、図書消毒機を導入し、利用者へ周知啓発している。	お気に入りの本のクリーニングについては未実施。

## (4) 子どもの読書活動を応援する人の確保

実施目標	成 果	課 題
読書ボランティアの確保	平常時のボランティア及び、特別な業務（新図書館への移行、特別整理期間）に係るボランティアなど、現在、数名のボランティアの協力を得ている。	組織化や継続的な活動につなげられていない。
受入態勢や活動場所づくり	広報紙やホームページなどで、ボランティア募集の周知啓発を行った。また、業務内容の整理をし、参加時の作業の明確化を図った。文化祭時に、各ボランティアグループに呼びかけ、新しい施設において、共同で事業を実施した。	子どもと大人の交流の場づくりについては、継続的な取組に至っていない。
研修会の開催・情報提供	愛媛県立図書館や他の自治体が開催する研修については、関係者に案内をしている。	子ども読書活動推進を目的とした研修会の企画開催はできていない。

読書活動に関する相談	赤ちゃん向けの本のリストの作成や絵本の展示、夏休みの宿題に関する本の企画展示などを行った。	人員不足により、子ども図書カウンターの活用など、相談しやすい態勢づくりには至っていない。
------------	---	--

また、前計画で掲げた指標については、実施したアンケート結果により、下記のとおり結果となっています。

指標1 「本を読むのが好きですか？」という問いに対して、『好き』と答える子どもの割合

	指標	結果	参考値(前計画)
小学生	70.0%	83.6%	62.9%
中学生	50.0%	83.4%	43.2%
高校生	—	78.2%	81.3%

※ 前計画の参考値は、小学生、中学生とも「好き」と回答した数値。「どちらかといえば好き」を加えると、小学生で92.5%、中学生で82.0%となる。

※ 高校生における参考値(前計画)は、愛媛県が平成30年7月に調査した結果を引用。

指標2 「一週間にどれくらい本を読みますか？」という問いに対して、『2冊以上』と答える子ども割合

	指標	結果	参考値(前計画)
小学生	75.2%	71.2%	70.7%
中学生	35.0%	38.5%	31.1%
高校生	—	23.0%	—

指標3 「お子さんに読み聞かせをしていますか？」という問いに対して、『よくしている』と答える保護者の割合

	指標	結果	参考値(前計画)
保護者	30.0%	23.3%	26.0%

## 第3章 子ども読書活動推進のための基本方針

図書館・学校・家庭・地域及び関係機関が連携し、社会全体で子どもの読書活動を推進していくため、平成30（2018）年に策定した計画から、4つの基本方針を引き継ぐものとします。

### 1 顔の見える協力体制づくり

子どもの読書活動の推進は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもので、社会における重要な使命です。しかし、地域・学校・家庭などそれぞれに課題を抱えており、計画どおりになかなか進んでいません。個々で解決することは困難でも、様々な立場の人たちが連携し、相互に協力や補完をすれば前進・発展につながることが期待されるため、読書活動推進を目的としたネットワークの構築を図ります。構築したネットワークの活用により、ボランティアの活動状況を把握し、できるだけ多くの人や団体に呼びかけて、情報を共有できる機会や場所を設定するなど、顔の見える状況をつくりながら、信頼関係を築くことに努めます。



### 2 本の楽しさを広げる活動の場づくり

子どもは親の行動を見て育つため、親自身が読書する姿を子どもに見せたり、家庭で本を読み聞かせをしたりするほか、子どもと一緒に図書館に出かけるなど、日頃から子どもが本に接する機会が増えるよう、読書活動を助けることが大切です。伊予市では、子どもたちのための多種多様な取組が展開され、読書活動推進に向けた効果につながっていると考えます。今後も活動の継続に努めるとともに、図書館と他団体が連携しながら、更なる発展に向けた取組を図ります。また、市内で実施されている各種の活動を、できるだけ多くの人に知ってもらうために情報発信をしていきます。

### 3 自分から本に向かう読書環境の整備

伊予市では、子ども図書館や中高生に向けた<sup>※12</sup>ヤングアダルトコーナーなどの設備・機能を有し、「誰もが行きたくなる図書館」として、平成31(2019)年4月、新図書館(文化ホール、地域交流館を含む複合施設)が開館しました。市内全域において、広く本にふれられる場を提供するため、この施設を核とした読書環境の整備を続けていきます。なお、蔵書も重要な要素であることから、子どもたちの需要との調整を踏まえ、様々な意見を取り入れながら選書を行います。

### 4 子どもの読書活動を応援する人の確保

新図書館では、子どもの利用者数の増加に伴い、大人の利用者数も比例して増加するという結果が出ています。このことから、「読書好きの大人」を増やすことも、子どもの読書活動を推進するうえで、大きな手段の一つになると考えられます。本に触れる機会が増えることで読書活動に興味を示し、ボランティアに参加してみようとする大人を増やすことも大切だと考えます。そのため、参加できる機会や受入態勢を整えて呼びかけを行い、ボランティアとしての参画を図ります。また、技術向上に係る研修も重要と考えます。そのため、図書館における技術向上に係る研修会の開催や、関係機関での各種研修の情報提供などを積極的に行います。



※12 ヤングアダルト 図書の分類で、児童書と一般書の間にあるもの。英語圏では、12歳から18歳までの読者を対象に書かれた文学に対して Young adult (YA) というカテゴリーを設けている。日本では13歳から19歳を読者層として想定している図書館が最も多い。

## 第4章 子ども読書活動推進のための具体的な取組と実施目標

子ども読書活動推進のための4つの基本方針に基づき、各機関・団体等における具体的な取組の計画策定や、実施するうえでの目標を設定します。

【表の見方】

内容 \ 実施主体	家	地	学	保幼	市	実施目標
*****	○	○	○	○	○	継続
*****		○	○	○	○	拡大
*****			○	○	○	見直し

※家…PTA・家庭、地…地域ボランティア、学…学校、保幼…保育所・幼稚園、市…市役所関係

※ 内容欄に掲げる事業について、取り組む実施主体に「○」をつけている。

※実施目標

継 続：現在実施している事業の継続

拡 大：現在実施している事業の拡大（実施数・場所数など）

見直し：現在実施している事業を見直し

## 1 顔の見える協力体制づくり

### (1) 情報交換の機会づくり

① 各関係機関との連携  
 地域、家庭、学校、保育所・幼稚園、市役所、企業などの関係機関が、それぞれの役割を積極的に果たすとともに、より強い連携を深め、情報を共有し協力し合うための体制づくりを推進します。また、市内だけではなく、愛媛県立図書館や近隣図書館、大学などとの連携を図ります。

② 各関係会議や活動への参加  
 小中学校や保育所・幼稚園における読書に関係する会議に出席をしたり、各地域ボランティアの活動の場に出向くなどして情報を収集するとともに、図書館の事業内容等の情報提供も行います。

### (2) 資料の有効活用

① リサイクル本の提供・寄贈本の収集  
 新図書館では、「リサイクル本」を置いた「リサイクルコーナー」を新設し、市民に提供していますが、空き棚が多いため充実化に向けた取組を図ります。また、寄贈本は年々増加傾向にあることから、今後も蔵書の確保やリサイクル本としての循環的な活用を図ります。

② 団体への貸出し  
 小学校、保育所・幼稚園、読書グループに対し、図書館の大型絵本や大型紙芝居の貸出を継続していきます。また、定期的に貸出リストの提供をするとともに、読書グループ設立に向けた啓発を図ります。

内 容	実施主体					実施目標
	家	地	学	保幼	市	
各関係機関との連携	○	○	○	○	○	拡大
各関係会議や活動への参加	○	○	○	○	○	継続
リサイクル本の提供・寄贈本の収集	○	○	○	○	○	継続
団体への貸出し					○	継続

## 2 本の楽しさを広げる活動の場づくり

### (1) 各団体の取組紹介、イベント開催の情報発信

図書館主催で行っているおはなし会などのイベントの情報発信は、引き続き行うとともに、今後は各団体が行っている催しについての情報発信を広く図ります。

**としょかんだより**

第28号 令和4年度 春号 伊予市立図書館

**企画図書展示のご案内**

**4月**

- 児童書：絵巻の絵本（新学編・次巻、西洋学童旅行の巻、絵巻の巻、巻の巻、巻巻巻絵巻巻）
- 二部書：ガーデニングしませんか

**5月**

- 児童書：絵巻の絵本（巻の巻、巻巻巻巻、アイスクリームの巻、ことばの巻、巻の巻）
- 二部書：賢者達賢（賢に関する巻）、子どものお守り巻

**6月**

- 児童書：絵巻の絵本（巻の巻、カエルの巻、巻巻の巻、巻の巻、巻の巻、巻の巻、巻の巻）
- 二部書：巻の巻（巻巻ガーマの巻）、巻にまつわる巻（巻のシーンが印象的な巻）

**当館のバリアフリー図書について**

4月は、下の様な様々なバリアフリー図書を入口に展示しています。どなたでも貸出できますので、ぜひお越しください。

- 大文字本：見えづらい方にも分かりやすい、大きな文字の本です。
- じじブック：絵や写真が多く、やさしい言葉の本です。
- 点字図書：盲文文学などを点字にした本です。
- さわる絵本：絵の形 やさななどを、触って楽しめる本です。
- 聴覚CD：盲文文学や盲 話などを聴いたCDです。

**図書館カレンダー（4月～6月）**

☐ 貸書日    ○ おはなし会    ⚙ イベント（開催をご確認ください）

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						2	1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				26	27	28	29	30			

バリアフリー図書：4月1日～4月29日    こどもの読書週間：4月23日～5月12日

としょかんだより

### (2) 体験学習、地域活動の受入れ

今後も、中学生の職場体験や、小学生の社会科見学、保育所・幼稚園・放課後児童クラブなどの見学を受け入れることにより、子どもたちの読書活動推進に関する学習や体験の場を提供します。また、市全体を対象とした広域的な取組を視野に入れ、学校や地域等との連絡調整を図り、※13 アウトリーチ活動を展開します。地域ボランティア活動については、情報収集・情報発信を行い、子どもたち自らが参加して経験を積むことによって、自己の成長や郷土愛を育むことへの一助とします。



小学生の社会科見学の様子

※13 アウトリーチ活動 学校や地域に出向き、周知啓発をしたり、読み語りや講座などを行うこと。



(3) 親子で楽しめる取組

子育て支援センターが中心となり、7カ月検診の際に「ブックスタート」を実施しています。令和2年度には326人であったのに対し、令和3年度は353人と増加しています。乳児のときから絵本の楽しさにふれることや、保護者が読み聞かせの大切さを発見することを目的に、引き続き取り組んでいきます。また、新図書館では、「こども読書エリア」を設けています。新型コロナウイルス感染症の影響により、このコーナーの有効活用がまだ図れていないことから、今後はウィズコロナの対策を取りながら周知を図っていきます。



親子で読める絵本の紹介

(4) 複合施設の機能を活かした取組

新図書館では、文化ホールで音楽を奏でながら読み聞かせをしたり、各種講座等に関連する本の展示を行うなど、複合施設の機能を活かした取組を行っていますが、今後は地域交流館も活用した企画展示を行います。また、あらゆる世代が新しい知識や技術を習得できる講座の開催を企画します。講座や講習会は、図書館内での実施にとどまらず、複合施設の特性を生かし文化ホールや地域交流館の諸室も活用しながら開催します。



王様の王冠づくり（館内パレード）

内容	実施主体					実施目標
	家	地	学	保幼	市	
各団体の取組紹介、イベント開催の情報発信					○	拡大
体験学習、地域活動への受入れ		○	○	○	○	継続
親子で楽しめる取組	○	○	○	○	○	拡大
複合施設の機能を活かした取組					○	拡大

### 3 自分から本に向かう読書環境の整備

#### (1) 読書推進に向けた環境づくり

読書を通じて、子どもたちは読解力や想像力・思考力・表現力などの生きる基礎力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。このため、子どもが自ら読書に親しみ進んで読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進することが大切なことと考えます。それには、子どもが生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、発達段階に応じた読書活動を推進する必要があります。家庭、保育所・幼稚園、学校、地域、図書館等において、子どもが自主的に読書活動のできる機会や情報の提供、本を身近に感じ、読書に親しめる環境づくりに努めます。

#### (2) 専門知識を活かした支援

図書館には、※<sup>14</sup>司書が従事しています。本の整理方法や修理の仕方、本の選び方など、学校や地域の要望に可能な範囲で対応できる態勢を整え、随時対応を行っています。今後も継続して支援していきますが、学校等からの問い合わせが少ないのが現状です。そのため、図書館から問い合わせを行い一緒に問題解決にあたります。また、他の図書館とのネットワークを構築し、支援体制を整えていきます。

#### (3) 選書及び蔵書の充実化

図書館では、選書方針や※<sup>15</sup>蔵書計画に基づき選書を行いますが、子どもたちの興味が沸く蔵書とするため、学校や保育所・幼稚園、保護者、ボランティアなどにも呼びかけ、多角的な視野による選書会の開催を心がけます。なお、小中学校からは、調べ学習に関する本についての希望も多くあったことから、導入についての検討を行います。また、子どもたちの希望を確認するために、リクエストの受付など意見聴取の機会をできる限り設け、読書活動推進につながる蔵書環境を整えます。小中学校や保育所・幼稚園での選書は、子どもたちの希望を取り入れた選書となるよう依頼してまいります。

※<sup>14</sup> **司書** 図書館に置かれる専門的職員のこと。図書館法第4条に定める文部科学省認定資格。公共図書館に勤務し、専門的な事務に従事する。

※<sup>15</sup> **蔵書計画** 市民の資料・情報の収集・提供・保存機能の充実を図ることや課題を解決することを支援するための図書館サービスを実現する蔵書構成となるよう、資料の収集・除籍等を行い、蔵書を計画的に形成、維持していくことを目標とする計画。

(4) 企画展示や壁面展示

新図書館では、年間を通しておすすめ本の展示を行っています。今後も、創意工夫をこらした展示に努めてまいります。また、学校図書館では、社会情勢や季節などに応じたおすすめ本の企画展示や壁面展示をしたり、※16 ポップ広告等による紹介や読書感想文の展示をするなど、読書活動のきっかけとなる環境づくりを行います。



おすすめ本の企画展示

(5) 配本サービスの実施

広域的なサービスの提供については移動図書館が有効ですが、人員確保が困難なことから、図書館から距離のある小中学校の児童生徒に対する貸借支援を目的とした配本サービスの実施を行います。配本サービスは、各学校の図書担当者と綿密な協議を行ったうえで実施します。さらには、ホームページ等で広く周知することにより、保育所・幼稚園、さらには公民館などからの依頼を受け付け、市内のあらゆる世代で利用できる環境を構築します。

(6) 街中で本に出会える機会の創設

市内では、商店街やウェルピア伊予などに本棚を設置し、街の中で本に出会える機会をつくる取組が展開されています。先進地においても、企業や個人などが特色のある本を展示し、誰にでも開放をしている事例もあることから、広く各方面に呼びかけ、子どもたちが自由に立ち寄れる場所の普及を図ります。なお、現在は実施団体との連携が行えていないことから、連携構築に向けて検討します。

※16 **ポップ広告** キャッチコピーやイラストを使って、本の紹介をする広告（カードやポスター等）。

(7) 障がい者向けの環境整備

新図書館への移行により、土足可などのバリアフリー化が図れています。同時に点字本及び大型絵本、※<sup>17</sup>LLブックなどの導入や増冊を行い、様々な障がいを持つ子どもたちのために読書環境を整えるよう心がけています。また、※<sup>18</sup>サピエに入会していることから、障がい者への情報提供に努めることとし、今後音読ボランティアが作成したCDを分かりやすい場所に設置するなど、ソフト面での充実を一層図っていきます。なお、愛媛県には、愛媛県視聴覚福祉センター内に点字図書館もあることから、点字図書館の存在や利用方法を周知するなどして、視覚障がい児の読書活動推進の支援も行います。



LLブックの展示

(8) 学習スペースの提供



学習コーナー

「どんなことがあれば地域の図書館に行ってみようと思いますか？」という問いに対して、「勉強するスペースがあれば」という回答が中高生に多く見られました。新図書館の2階には、自習学習に無料で利用できる「学習コーナー」があり、中高生にも広く利用されています。読書活動推進に係る効果はあまりありませんが、図書館に立ち寄りやすいという環境をつくることで、今後の読書活動推進につながると期待します。

※<sup>17</sup>LLブック 文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人でも、やさしく読めるよう工夫されている本。

※<sup>18</sup>サピエ 視覚などの障害により活字図書の利用が困難な方を対象に、インターネットにより、録音図書等のデータをはじめ、暮らしに役立つ身近な情報などを提供しているネットワーク。

運営は全国視覚障害者情報提供施設協会が行っている。

(9) 検索システムの活用

新図書館でも旧図書館から引き続いて、ホームページから図書館内の蔵書や予約状況等を調べることができます。愛媛県立図書館においても、愛媛県内の図書館における蔵書について、横断検索可能なシステムとなっています。この検索システムの利用件数は増加傾向にあることから、これからも広く啓発するとともに、利用方法についても併せて周知を図ります。また、「(5) 配本サービスの実施」にも活用していきます。



ホームページの検索システム画面



図書消毒機

(10) 本の修理やクリーニング

保護者アンケートにも、「本の汚れが気になる」との回答がありました。子どもたちが本を手にする際に、汚れや破れが少しでも気にならないように、本の修理やクリーニングを行います。なお、新図書館では、返却本の消毒作業を行うとともに、図書消毒機を導入しています。

内容	実施主体					実施目標
	家	地	学	保幼	市	
読書推進に向けた環境づくり	○	○	○	○	○	継続
専門知識を活かした支援					○	継続
選書及び蔵書の充実化	○	○	○	○	○	拡大
企画展示や壁面展示			○	○	○	継続
配本サービスの実施		○	○	○	○	見直し
街中で本に出会える機会の創設		○			○	見直し
障がい者向けの環境整備		○	○	○	○	拡大
学習スペースの提供			○		○	継続
検索システムの活用	○	○	○	○	○	継続
本の修理やクリーニング			○	○	○	継続

## 4 子どもの読書活動を応援する人の確保

### (1) 読書ボランティアの確保

図書館業務は多岐にわたっており、図書館職員の人員不足が課題となっています。そのため、図書館に興味がある方々のボランティアによって支えられているところもあります。新図書館に移行してから、応募が増えてきていますが、まだまだ足りている状況でないことから、今後も一層の呼びかけに努め、読書ボランティアの確保を図ります。また、図書館での読書活動に興味を持ったボランティアが、地域に向いて読み聞かせなどを行うよう支援します。

### (2) 受入態勢や活動場所づくり

「ボランティアに参加したい」という人のための受入態勢は整っていることから、引き続き実施してまいります。子どもと大人の交流の場づくりでは、継続的な取組にいたっていないことから、検討を行います。

### (3) 研修会の開催・情報提供

愛媛県立図書館等から案内のあった研修については、関係者に案内を行い、参加の促進に今後もつなげていきます。また、図書館主催の子ども読書活動推進を目的とした研修会の企画や開催について検討します。

### (4) 読書活動に関する相談

小学生以下の保護者の方は、絵本選びや読み聞かせについて大変困っていると思われます。現在は、赤ちゃん向けの本のリスト作成や絵本の展示、夏休みの課題に関する企画展示などは行っていますが、相談しやすい体制づくりまでにはいたっていないことから、子ども読書カウンターの有効活用などを行います。

内 容	実施主体					実施目標
	家	地	学	保幼	市	
読書ボランティアの確保	○	○	○	○	○	拡大
受入態勢や活動場所づくり		○	○	○	○	継続
研修会の開催・情報提供		○	○	○	○	拡大
読書活動に関する相談					○	拡大

【図書館・図書室の仕事】

※19 レファレンス（相談対応）、図書の貸出・返却、図書の修理等、図書の整とん・配置替え、企画展示・壁面展示、図書だよりの編集・発行、絵本の読み聞かせ、イベントの企画、選書・発注、利用者カードの作成 など



蔵書点検



図書の修理



図書の貸出・返却システム

---

※19 **レファレンス** 利用者と、資料や情報を結びつけるためのサービスのこと。  
利用者が必要とする資料や情報などの検索の援助を行い、回答までのサポートを行うサービス。

【用語解説出典】

- 図書館情報学用語辞典
- 図書館用語集
- 基本的な用語
- FJAS 図書館ポータル

## 第5章 子ども読書活動推進計画における評価と今後の目標

### 1 第2次伊予市子ども読書活動推進計画の評価について

第4章「子ども読書活動推進のための具体的な取組と実施目標」において設定した目標に対する成果や効果については、伊予市立図書館協議会において評価項目を定め、市内小中高等学校、保育所・幼稚園等に向けたアンケート調査を行うことで、1年ごとに確認するとともに改善策について検討協議を行います。

なお、図書館では毎年度、「利用人数」、「貸出冊数」及び「0～18才以下の利用割合」といった項目において、前年度以上の数値を目標と掲げて取り組んでいきます。

### 2 第3次伊予市子ども読書活動推進計画に向けた目標について

5年後の第3次伊予市子ども読書活動推進計画に向けて、下記のとおり指標を掲げて、各機関や団体等が連携した取組を進めることとします。なお、今回の計画において高等学校については、市内にある伊予農業高等学校への協力を仰ぎました。引き続き同校への協力をお願いし、愛媛県の平均値との比較検討を行ってまいります。

#### (指標1)

「本を読むのが好きですか？」という問いに対して、『好き』と答える子どもの割合（保護者については、お子さんが「好き」だと思う割合）

小学生	83.6% → 90.0%	中学生	83.4% → 90.0%
高校生	78.2% → 85.0%	保護者	87.3% → 95.0%

#### (指標2)

「一週間にどれくらい本を読みますか？」という問いに対して、『2冊以上』と答える子どもの割合（保護者については、読み聞かせの割合）

小学生	71.2% → 75.0%	中学生	38.5% → 45.0%
高校生	17.6% → 25.0%	保護者	58.2% → 65.0%

#### (指標3)

「お子さんに読み聞かせをしていますか？」という問いに対して、『よくしている』と答える保護者の割合

23.3% → 30.0%



(指標4)

「伊予市立図書館で本を読んだり借りたりしたことがありますか？」という問いに対して、『ある』と答える子どもや保護者の割合

小学生 60.3% → 65.0%

中学生 58.2% → 65.0%

高校生 18.1% → 25.0%

保護者 47.8% → 55.0%



# 資料編

# 子ども読書活動推進計画 に係るアンケート

(令和3年12月15日から令和4年1月24日実施)

小学校回答率	(1856人/1861人 99.7%)
中学校回答率	( 882人/ 883人 99.9%)
高等学校回答率	( 543人/ 543人 100.0%)
幼稚園・保育所・認定こども園保護者回答率	( 692人/ 890人 77.8%)

学校名 小学校全体 学年 全学年 人数 1856 人

1 日ごろ本※を読んでいますか？

※教科書、勉強の参考書や問題集、新聞、雑誌、パンフレット以外のもの

はい	いいえ
1248人	595人

2 本を読むのは好きですか？

はい	いいえ
1544人	303人

3 どんなジャンルの本が好きですか？(当てはまるもの全てに○)

マンガ	小説や物語	絵本	趣味	図鑑や事典・辞典	歴史物語	伝記	その他	特にない
1236人	840人	592人	413人	411人	379人	201人	104人	81人

その他

- ・ 妖怪、ホラー、怖い話
- ・ まちがいさがし
- ・ ことわざ、四字熟語、クイズ
- ・ ミステリー小説
- ・ ゲームの本、攻略本
- ・ 英語の本
- ・ アニメの本

4 一週間にどれくらい読みますか？

0冊	1冊	2～4冊	5冊以上
99人	428人	820人	484人

5 本はどこで読むことが多いですか？(当てはまるもの全てに○)

自分の家	教室	学校図書館	児童クラブや児童館	地域の図書館	その他	特にない
1313人	1072人	663人	287人	281人	49人	52人

その他

- ・ おじいちゃん・おばあちゃんの家、いとこの家、友達の家
- ・ 塾
- ・ 車や電車の中
- ・ お風呂
- ・ 公園、海のそば
- ・ 一人になれる場所、好きな場所
- ・ 児童クラブ

6 本を読んで思ったことを、家族に話していますか？

はい	いいえ
671人	1148人

7 読みたい本は、どのようにしていますか？(当てはまるもの全てに○)

学校図書館から借りる	家にある本を読む	本屋さんで買う	地域の図書館から借りる	友達から借りる	インターネットで買う
1250人	1033人	998人	471人	162人	107人
電子書籍を買う・借りる	その他	特にない			
74人	38人	74人			

その他

- ・ レンタルする、店で借りる
- ・ 父親や近所の人、親戚や先生に借りる
- ・ 塾の本を読む
- ・ 児童クラブにある本を読む
- ・ チャレンジタッチというタブレットで無料で読んでいる
- ・ 学校で買う
- ・ 交換する
- ・ 古本を買う

8 伊予市立図書館で本を読んだり借りたりしたことはありますか？

ある	ない
1104人	727人

9 どんなことがあれば、図書館に行ってみようと思いますか？(最も当てはまるものを1つ○)

おすすめの本を教えてください	読みたい本のことを聞きやすい	勉強するときに役に立つ本がある	移動図書館(図書館の本を近くで借りることができる)	本の楽しいイベントがある	紙しばいや絵本を読んでもくれる
491人	278人	257人	133人	100人	61人
その他	特にない				
83人	408人				

その他

- ・ 本気で勉強する気があるとき
- ・ 読みたい本があったとき(何十日も読むのにかかる本があれば行ってみようと思う)
- ・ 新しい本が出たとき
- ・ 何もなくても行きたくなる
- ・ 本の紹介をインターネットでしてくれる
- ・ 漫画を読んだり書いたりできる(漫画を売っているなら、子供向けの為になる漫画を置いてほしい)
- ・ ゲームがあれば行く
- ・ インターネットで頼んだら家まで持って来てくれる
- ・ 習字とか作品が展示されているとき
- ・ 行きたくない

学校名 中学校全体 学年 全学年 人数 882 人

1 日ごろ本※を読んでいますか？

※教科書、勉強の参考書や問題集、新聞、雑誌、パンフレット以外のもの

はい	いいえ
502人	372人

2 読書は好きですか？

はい	いいえ
732人	146人

3 どんなジャンルの本が好きですか？(当てはまるもの全てに○)

マンガ	小説や物語	趣味	歴史物語	図鑑や事典・辞典	絵本	伝記	その他	特にない
645人	625人	228人	135人	67人	63人	60人	20人	39人

その他

- ・ 専門書、哲学書
- ・ ホラー系
- ・ 日本史の本
- ・ 推理物
- ・ 政治解説
- ・ ノウハウ本
- ・ 写真の本、画集
- ・ 雑誌

4 一週間にどれくらい読みますか？

0冊	1冊	2～4冊	5冊以上
184人	356人	264人	74人

5 本はどこで読むことが多いですか？(当てはまるもの全てに○)

自分の家	教室	地域の図書館	学校図書館	その他	特にない
650人	557人	38人	34人	10人	50人

その他

- ・ 塾
- ・ 車の中
- ・ 児童館
- ・ 静かな場所

6 読んだ本の内容や感想について、家族で話し合っていますか？

はい	いいえ
117人	753人

7 読みたい本は、どのようにしていますか？(当てはまるもの全てに○)

書店で買う	家にある本を読む	学校図書館から借りる	友達から借りる	地域の図書館から借りる	インターネットで買う
704人	424人	205人	122人	118人	111人
電子書籍を買う・借りる	その他	特にない			
109人	5人	41人			

その他

- ・ ウェブで読む
- ・ レンタル店で借りる
- ・ 古本店で買う

8 伊予市立図書館で本を読んだり借りたりしたことはありますか？

ある	ない
503人	362人

9 どんなことがあれば、図書館に行ってみようと思いますか？(最も当てはまるものを1つ○)

おすすめの本を教えてください	読みたい本について聞きやすい	勉強するときに役に立つ本がある	読書マラソン	YA(中高生)向けの本の充実	部活動に役立つ本がある
214人	97人	85人	46人	40人	37人
移動図書館	※ビブリオバトルやブックトークなど、好きな本を語るイベント	図書館のボランティア活動	その他	特にない	
29人	10人	3人	26人	285人	

その他

- ・ 漫画をおいてほしい
- ・ 自習スペースの有無(個室がたくさんある図書館・勉強しに行く)
- ・ 雑誌の充実(スポーツ系の雑誌)
- ・ 水族図書館
- ・ しゃべれるようにする
- ・ 検定の本などを置いているところ

※**ビブリオバトル** 本の紹介コミュニケーションゲーム。ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館等で、広く活用されている。発表参加者(バトルー)たちがおすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間で書評した後、バトルーと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定する。「知的書評合戦ビブリオバトル 公式サイト」より引用

学校名 伊予農業高校 学年 全学年 人数 543 人

1 日ごろ本※を読んでいますか？

※教科書、勉強の参考書や問題集、新聞、雑誌、パンフレット以外のもの

はい	いいえ
319人	224人

2 読書は好きですか？

はい	いいえ
424人	118人

3 どんなジャンルの本が好きですか？(当てはまるもの全てに○)

マンガ	小説や物語	趣味	歴史物語	図鑑や事典・辞典	絵本	伝記	その他	特にない
370人	365人	135人	36人	31人	28人	16人	14人	41人

その他

- ・ 神話系
- ・ 二次創作物
- ・ 雑誌
- ・ 啓発本
- ・ 経済や知識系
- ・ 楽器の本

4 一週間にどれくらい読みますか？

0冊	1冊	2～4冊	5冊以上
177人	241人	105人	20人

5 本はどこで読むことが多いですか？(当てはまるもの全てに○)

自分の家	教室	学校図書館	地域の図書館	その他	特にない
378人	356人	15人	14人	9人	44人

その他

- ・ 電車内(移動中)
- ・ 友達の家
- ・ 公園
- ・ トイレ

6 読んだ本の内容や感想について、家族で話し合っていますか？

はい	いいえ
43人	490人



7 読みたい本は、どのようにしていますか？(当てはまるもの全てに○)

書店で買う	家にある本を読む	インターネットで買う	友達から借りる	電子書籍を買う・借りる	学校図書館から借りる
424人	152人	98人	93人	82人	47人
地域の図書館から借りる	その他	特にない			
20人	2人	24人			

その他  
・ アプリで見る

8 伊予市立図書館で本を読んだり借りたりしたことはありますか？

ある	ない
96人	435人

9 どんなことがあれば、図書館に行ってみようと思いますか？(最も当てはまるものを1つ○)

おすすめの本を教えてください	読みたい本について聞きやすい	勉強するときに役に立つ本がある	YA(中高生)向けの本の充実	読書マラソン	移動図書館
83人	59人	44人	26人	21人	12人
部活動に役立つ本がある	図書館のボランティア活動	ビブリオバトルやブックトークなど、好きな本を語るイベント	その他	特にない	
10人	7人	4人	18人	245人	

その他

- ・ おすすめの本をプレゼントしてくれる
- ・ 買うのはためらうほどに続いているシリーズ物がおいてあるとき(読みたい本がある場合)
- ・ 勉強をするため(勉強スペースがある)
- ・ 自分の好きなジャンルの本がある(趣味に関する本)
- ・ 本とは違うことで語り合う(友達に会いに行く)
- ・ 見たい本をすぐ調べられるか
- ・ 有名人の啓発本がたくさんあれば
- ・ 別の図書館を利用している

1 お子さんは日頃本※を読んでいますか？ ※新聞、雑誌、パンフレット以外のもの

はい	いいえ
524人	163人

2 お子さんは本が好きだと思いますか？

好きだと思う	嫌いだと思う	わからない
604人	12人	76人

3 お子さんに読み聞かせをしていますか？

よくしている	たまにしている	全くしていない
161人	466人	64人

4 お子さんに読書をすすめるために、どのようなことをしていますか？(当てはまるもの全てに○)

家に本をそろえる	図書館に連れて行く	子どもが本を読んだらほめる	家庭で読書の時間をつくる	自分が読書をする姿を見せる	本のイベントに参加させる
315人	207人	202人	170人	63人	24人
その他	特にない				
56人	126人				

その他

- ・ 兄弟でも読み合う、姉達が読んでるので一緒に読んでいる
- ・ お姉ちゃんたちの本読みを聞く係
- ・ 眠る前に本を読む、寝る前に本を読む習慣をつけている
- ・ 自分で本を選ばせる
- ・ 子どもの手の届く所目の付く所に本棚を置いている
- ・ 一緒に絵本を見る、読み聞かせをする、絵本読もうかと誘う
- ・ 保育園の読書週間の時に積極的に読む、保育所で借りれる時は借りる
- ・ 本屋さんで読みたい本を選ぶ
- ・ 子供が選んだ本と一緒に読む、一緒に声を出して読む、一緒に読もうと勧める
- ・ 地域での読み聞かせ増進
- ・ ごほうびに本を買いに行く
- ・ 児童館の読み聞かせの時に連れていく
- ・ 図書館の本を借りてくる
- ・ じっと座っていることができないので読み聞かせができない

5 お子さんの読みたい本は、どのようにしていますか？(当てはまるもの全てに○)

家にある本を読む	書店で買う	保育所・幼稚園から借りる	地域の図書館から借りる	インターネットで買う	電子書籍を買う・借りる
450人	434人	252人	235人	94人	12人
友達から借りる	その他	特にない			
10人	25人	13人			

その他

- ・ 知人のお子さんが読まなくなったのを頂く
- ・ 古本屋で買う、交換市でもらう
- ・ 保育園で買う 祖父母からのプレゼント
- ・ お兄ちゃんが借りてきた本を読む
- ・ 童話館ブッククラブの配本
- ・ 読み聞かせアプリ
- ・ 定期購読

6 伊予市立図書館でお子さんに本を読んだり、お子さんに読む本を借りたりしたことがありますか？

331人	358人
------	------

7 あなたはどんなことがあれば、お子さんのために図書館を利用しようと思いますか？(最も当てはまるものを1つ○)

おすすめの本	児童書の充実	読み聞かせ(紙ばい絵本)のイベント	移動図書館	読みたい本について聞きやすい窓口	子どもへの読み聞かせについて相談しやすい窓口
182人	163人	100人	59人	27人	11人
子どもに読み聞かせるための勉強会	その他	特にない			
6人	47人	91人			

その他

- ・ 今の環境で十分楽しませてもらっている
- ・ 駐車場が利用しやすい、トイレが使いやすい、飲食のスペースがある
- ・ このアンケートをして、図書館に行ってみようと思いました
- ・ 読み聞かせではないイベントがあればついでに本も見てもよいか？と行きつけになる今であればフードトラックなど外で密にならないもの
- ・ 絵本には関係のないイベント、本以外のイベントがあれば行きやすい
- ・ コロナが落ち着けば
- ・ 感染症が怖いので、他の人が触れたものはあまり触らせたくない
- ・ 親子でくつろぎやすい・ソファ席・お弁当やおやつを食べられる
- ・ 少しうるさくても大丈夫な子どもコーナー
- ・ 児童書だけの部屋。子供が声を出せる雰囲気があればよい
- ・ 静かにできないので児童書などは防音の部屋等別にしてほしい
- ・ 子供がたくさんいても図書館に行きやすい環境
- ・ 年齢に合わせての本のオススメ、年齢別の本の紹介

- 読書通帳
- 場所が遠く道が混んでいるところなので行きにくい、そこをどうにかしてほしい
- 図鑑が好きなので借りられるようになってほしい
- 行きたいといえば利用する、時間があれば
- スマホで貸し出し状況が分かれば
- 新刊の入荷お知らせ・保育所や幼稚園、学校への案内
- 入りやすさ、利用しやすさが分からない。知る機会がない(図書館の情報、場所・開館時間など)
- 図書館では作者順に本が並んでいるので、年齢にあった本を探しにくく感じています
- 勤務先へ本を持ってきて出張図書館のようなものをしていただく
- ネットで予約すれば自宅に本が届き、ポストへ投函すれば本が返却できるシステム
- 松山市のように図書館以外の所にも返却箱があると、もっと図書館が利用しやすいと思います
- いつでも気軽に返却できるようになること(ドライブスルーなど)
- 園から利用を促されたら
- 子どもが字を読めだしたら

## 伊予市子ども読書活動推進計画策定審議会委員

(任期 R4.7.20～R5.3.31)

(順不同)

氏 名	所 属	分野別	備 考
久保田 貴 章	南山崎小学校長	学校関係者 (小学校)	会 長
西 村 啓 子	伊予市主任児童委員 中山地域ボランティア	読書ボランティア	副会長
児 玉 正 人	双海中学校長	学校関係者 (中学校)	
清 水 理 香	中山認定こども園長	保育所関係者	
曾我部 京 子	伊予幼稚園長	幼稚園関係者	
渡 邊 京 子	おはなしおもちゃ箱代表	読書ボランティア	
橋 本 千 春	読み語り隊代表	〃	
岡 田 有利子	いよ本プロジェクト代表	公募による者	
渡 部 正 輝	ふたみ図書プロジェクト 図書委員	〃	

## 伊予市子ども読書活動推進計画策定審議会条例

### (設置)

第1条 本市における子ども読書活動推進計画の策定等に関し、必要な調査及び審議を行うため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、伊予市子ども読書活動推進計画策定審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 審議会は、伊予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査し、及び審議する。

- (1) 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）に基づく子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）の策定に関すること。
- (2) 計画の見直しに関すること。

### (組織)

第3条 審議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 読み聞かせ活動等実践者
- (3) 子育て支援に関する事業に従事する者
- (4) 公募による市民
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日の属する年の翌年の3月31日とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 会長は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。





第2次伊予市子ども読書活動推進計画の策定に御理解・御協力をくださった皆様方  
に対し、心より感謝を申し上げます。

## 第2次伊予市子ども読書活動推進計画

編集・発行 伊予市教育委員会事務局 社会教育課

〒799-3193

伊予市米湊820番地

TEL 089-982-1111

FAX 089-982-5156